

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	地域高規格道路「倉敷福山道路」 一般国道2号 笠岡バイパス	事業区分	一般国道 (二次改築)	事業主体	中国地方整備局
起終点	自：岡山県笠岡市西大島新田 至：岡山県笠岡市茂平	延長	7.6 km		
事業概要 倉敷福山道路は、岡山県南地域と備後地域を結ぶ延長約5.5 kmの地域高規格道路である。 笠岡バイパスは、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する延長7.6 kmの道路である。					
S 6 3 年度事業化	S 6 3 年度都市計画決定	H 2 年度用地着手	H 1 0 年度工事着手		
全体事業費	約 3 0 0 億円	事業進捗率	2 3 %	供用済延長	- km
計画交通量	3 7 , 7 0 0 台 / 日				
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 8 . 4 (残事業) 1 3 . 1	総費用 (残事業)/(事業全体) 172 / 270億円 (事業費：150/248億円 維持管理費：22/22億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 2,255 / 2,255 億円 (走行時間短縮便益：1915/1915億円) (走行費用減少便益：284/284億円) (交通事故減少便益：56/56億円)	基準年 平成15年	
事業の効果等 ・国土・地域のネットワークの構築（地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成） ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している地区の騒音レベル低下が見込まれる） 他 2 0 項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 笠岡バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、笠岡市など2市4町から構成される国道2号玉島笠岡間整備促進協議会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 笠岡市の中心市街地を東西に横断する国道2号は、交通量が多く平面交差が多いうえ、そのほとんどが信号交差点となっていることから、慢性的な交通混雑が生じている。また、新たな工業団地等の整備も進められており、更なる交通需要が見込まれる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 約59%の用地買収が完了するとともに、平成10年度より工事を推進している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 関係機関協議・並びに地元調整に時間を要した。今後、早期全線供用を目指し事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等 ・高架橋を盛土構造に変更し、コスト縮減を図った。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等によりコスト縮減に努めている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。